

# 長崎市の仕事とお金

## ～平成 27 年度決算報告～

平成 27 年度決算についてお知らせします。  
平成 27 年度の長崎市の財政状況は、歳入において、法人市民税の増加などにより、市税収入が増加しました。

一方で、歳出では、子ども子育て支援新制度移行に伴い、扶助費（住民福祉を支えるための経費）が増加しましたが、市債（借金）の返済や職員の人件費は平成 26 年度に引き続き減少したことから、一般会計の収支は、43 億 3,510 万円の黒字となりました。

それぞれの特別会計、企業会計についても、安定した事業運営が持続できており、各種の財政指標も良好な結果となっています。

これからの少子高齢化の進展と人口減少に伴って、市税収入などが減少する中、医療費や社会保障費などが増大することが予想されていますが、これからの活力のあるまちづくりを目指し、選択と集中による事業の重点化と、業務の効率化を図りながら持続可能な財政運営に取り組みます。

【問い合わせ】 財政課 ☎ 829-1126



長崎市の財政に関する詳しい情報は市ホームページでご覧いただけます。

○「市の紹介・市政全般」→「財政（予算・決算）」

長崎市 財政

検索

# の仕事

## 主な取り組み～

長崎市が目指す将来の都市像「個性輝く世界都市  
希望あふれる人間都市」の実現に向けて8つの重  
点テーマを掲げ、それぞれのテーマに沿った取り組  
みを行いました。  
ここでは、主なものを紹介します。

### 重点テーマ1 個性を活かした交流の拡大

2つの世界遺産があるまちを目指して

4億9138万円

平成27年7月の「明治日本の産業革命遺産」登録を受けて、端島炭坑の整備や調査を行ったほか、シンポジウムなどを開催しました。  
また、平成30年の「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の登録に向けて、外海地区の駐車場など受入態勢の整備を進めました。



端島 (軍艦島)



上大野町駐車場

### 夜景観光の推進

鍋冠山公園展望台をリニューアルしました。

前面に張り出し、展望スペースが広くなったことで、今まで以上に素晴らしい眺望を楽しめるようになりました。



鍋冠山公園展望台

1億2320万円

### 出島の魅力をさらに高める

3億5107万円

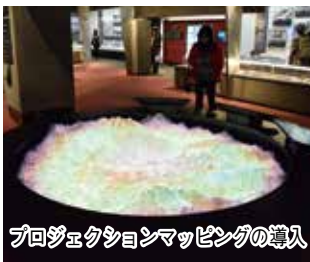
出島表門橋の橋台設置予定箇所に見つかった旧出島橋の遺構の調査などにより、橋の完成が予定より遅れましたが、平成29年12月の完成を目指して、架橋工事などに着手しました。

### 重点テーマ2 平和の発信と世界への貢献

### 被爆70周年の節目を迎えて

2億1472万円

◆被爆の実相の継承  
原爆資料館における最新映像機器の導入や資料の追加展示などにより、展示内容の充実を図りました。



プロジェクションマッピングの導入



タッチパネルモニターの設置

### ◆平和アピールの発信強化

世界122の国と地域の子どもたちと長崎の子どもたちが、平和について共に考える「世界子ども平和会議」を開催しました。  
また、軍縮や平和問題について世界の科学者らが話し合う「パグウォッシュ会議世界大会」の長崎での開催を支援しました。

### 重点テーマ3 地域経済の活力の創造

新たな企業の誘致に向けて

3億 420万円

九州新幹線西九州ルートのトンネル工事を出る土を活用して、田中町に企業立地用地を整備しています。

### 重点テーマ4 環境との調和

自然エネルギーの収益で環境行動を応援

2563万円

市が設置した太陽光発電所の売電利益をもとに創設した基金を活用して、市民が気軽に利用できる環境活動拠点を整備しました。また、特色ある活動を実践するがさきエコネット参加学校を支援して、環境教育の活性化を図りました。



市民の環境活動拠点「サステナラザながさき」

### 重点テーマ5 安全・安心で快適な暮らしの実現

宅地のがけ災害の復旧を支援

887万円

個人が所有する宅地などのがけ崩れに対し

# 長崎市

## ～平成 27 年度の

特集

市民

市政

「ご意見」  
「お声」  
「お便り」

生活情報

子育て

健康

福祉

税

講演・講座

もよおし

おしらせ

募集

て、その復旧工の一部を助成することで、早期の復旧を支援しました(13件)。



### 都市計画マスタープランの見直し

982万円

20年後を見据えた都市づくりの基本方針とするため、将来の都市構造を「ネットワーク型コンパクトシティ長崎」とする改訂原案を作成しました。

### 重点テーマ6 ともに支え合い、いきいきと暮らせる地域社会の実現

#### 子育てしやすいまちを目指して

126億5713万円

保育所の施設整備や認定こども園の施設整備の助成を行うことで、保育定員の増加を図りました。

また、放課後児童クラブの運営を支援するなど、安心して子育てができる環境



を整える取り組みを進めました。

### 胃がんを早期発見

897万円

40・45・50・55・60歳のかたに、胃がんリスク検診の受診券を発送し、胃がんの早期発見につながる検診の受診を勧めました。

### 重点テーマ7 創造的で豊かな心の育成

#### 学校図書館をもっと利用しやすく

5947万円

学校図書館司書の増員や学校図書館を活用した授業を行った結果、児童一人あたり貸出冊数が増加しました(平成26年 小学校69冊 中学校11冊 / 平成27年 小学校75冊 中学校13冊)。

#### 「口吉自然の家」の建て替え

6億5698万円

「口吉自然の家」の本館、体育館棟が完成し、平成28年4月にオープンしました。

### 重点テーマ8 多様な主体による地域経営

#### 長崎のまちをみんなで作る

305万円

長崎をもっと「よかまち」にするために、まちづくりの基本的な考え方やルール、担い手の役割分担などを定めた「長崎市よかまちづくり基本条例」を作りました。

### 人口減少対策

#### 地域経済の活性化

#### 外国人観光客へのおもてなし

2732万円

外国人観光客が買い物を楽しめるよう、長崎浜市商店街振興組合と連携して、トイレや休憩スペース、観光情報の発信コーナー、消費税免税手続一括カウンターを設置した「浜んまちガーデン」をリニューアルオープンしました。



消費税免税手続一括カウンター



#### プレミアム商品券発行

6億7577万円

市内5つの商工団体によるプレミアム付き商品券の発行に対して補助を行って、各地域での経済の活性化を図りました。その結果、20億5400万円の新たな消費が生まれました。

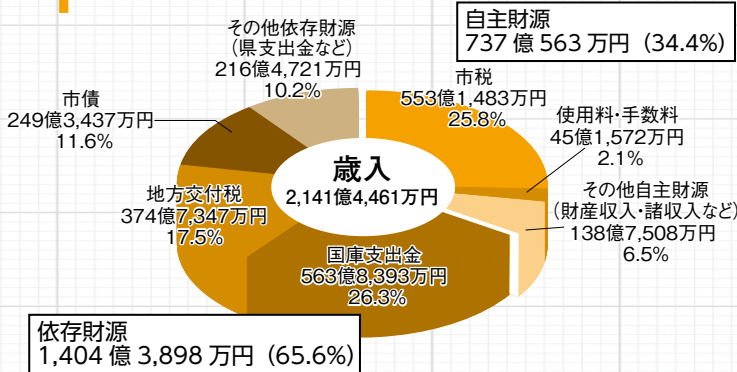
# ～平成 27 年度決算状況～

(金額は四捨五入して掲載しているため、各内訳と合計または割合が一致しない場合があります。)

## 01 一般会計 歳入

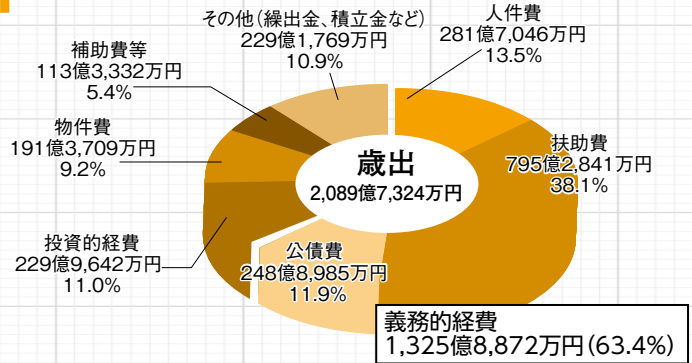
市税収入などの市が独自に確保できる自主財源が少なく(歳入に占める割合は約34%)、国から交付される国庫支出金、地方交付税に依存している状況です。

財政運営の自立性や安定性を高めるためにも、自主財源を増やすことが重要です。



## 02 一般会計 歳出

扶助費(原爆被爆者や子ども、高齢者、障害者福祉などの経費)の割合が高くなってきています。また、公債費(借金の返済)も大きな割合を占めていますが、前年度より減少しています。



歳入と歳出を市民一人あたりで考えると

※平成28年3月末、人口433,729人で計算

歳入は **493,729** 円

歳出は **481,806** 円

年収500万円の家計に置き換えると...

収入		構成比
<b>【給料】</b>		
市税	129 万円	25.8%
<b>【パート収入】</b>		
使用料・手数料など	41 万円	8.3%
<b>【貯金の取り崩し】</b>		
基金繰入金	2 万円	0.3%
<b>【親からの仕送り】</b>		
地方交付税・国庫支出金など	270 万円	54.0%
<b>【ローン】</b>		
市債	58 万円	11.6%
<b>合計</b>	<b>500 万円</b>	<b>100.0%</b>

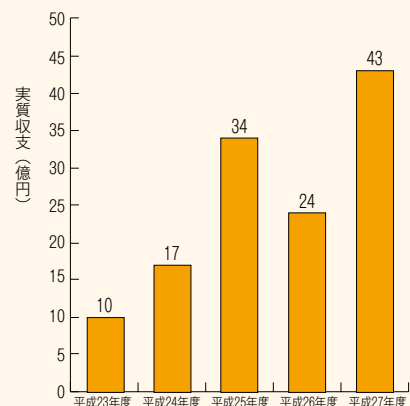
支出		構成比
<b>【食費など】</b>	人件費	67 万円 13.5%
<b>【医療費など】</b>	扶助費	191 万円 38.1%
<b>【ローンの返済】</b>	公債費	59 万円 11.9%
<b>【家の増改築費など】</b>	投資的経費	55 万円 11.0%
<b>【光熱水費など】</b>	物件費	46 万円 9.2%
<b>【家具の修繕費】</b>	維持補修費	4 万円 0.8%
<b>【子どもへの仕送り】</b>	繰出金	29 万円 5.8%
<b>【貯金】</b>	積立金	9 万円 1.8%
<b>【その他】</b>	補助費、貸付金など	40 万円 7.9%
<b>合計</b>	<b>500 万円</b>	<b>100.0%</b>

## 03 一般会計の実質収支

Q 長崎市の収支は黒字なの？ 赤字なの？

A 平成27年度、財政調整のための基金(貯金)を取り崩さなくても実質収支が黒字となっています。収支の差額は、今後の財政運営に役立つため、基金の積み立てなどに活用しています。

「実質収支」とは、決算上の形式収支(歳入-歳出)から、翌年度に繰り越すべき財源を引いた収支のことをいいます。



特集  
市民  
市政  
プ  
レゼン  
ト  
生活情報  
子育て  
健康  
福祉  
税  
講演・講座  
もよおし  
おしらせ  
募集

# 長崎市のお金

## 04 特別会計

特別会計とは、一般会計と区分し、特定の収入（保険料や使用料など）で、その仕事の支出をまかなう会計です。長崎市には12の特別会計があります。

会計	収入済額	支出済額
観光施設事業	7億 5,359万円	7億 233万円
国民健康保険事業	681億 5,658万円	679億 6,247万円
土地取得	11億 4,096万円	10億 8,377万円
中央卸売市場事業	3億 2,526万円	3億 2,526万円
駐車場事業	3億 9,321万円	3億 6,485万円
財産区	3,306万円	3,306万円
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	4億 4,191万円	2億 1,940万円
介護保険事業	420億 7,849万円	414億 2,235万円
生活排水事業	5億 1,147万円	5億 1,147万円
診療所事業	4億 1,187万円	4億 1,187万円
後期高齢者医療事業	53億 5,843万円	53億 3,331万円
長崎市立病院機構病院事業債管理	34億 7,100万円	34億 7,100万円
合計	1,230億 7,583万円	1,218億 4,114万円
前年度比	3.2%	3.1%

## 05 企業会計

それぞれの事業の収益（使用料など）で必要経費をまかなう独立採算が原則の会計です。長崎市には2つの会計があります。

会計	区分	決算額
水道事業	収益的	収入 122億 815万円
		支出 95億 4,907万円
	資本的	収入 13億 1,819万円
		支出 68億 4,905万円
下水道事業	収益的	収入 139億 5,443万円
		支出 121億 2,489万円
	資本的	収入 70億 9,548万円
		支出 122億 8,516万円

### 収益的収入と支出

企業の経営活動により発生する収益と、それに対応する費用

### 資本的収入と支出

企業の将来の経営活動に備えて行う建設改良費や企業債償還金などの支出とその財源となる収入

## 06 基金

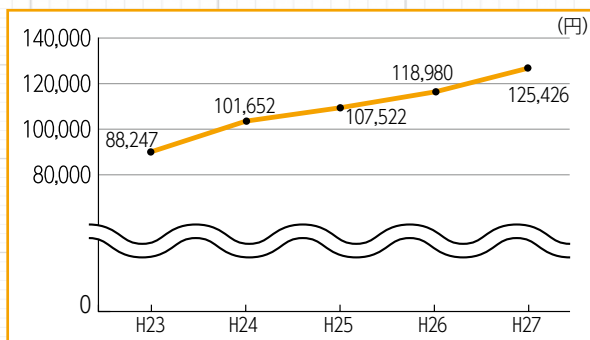
Q 長崎市の貯金はどれくらいあるの？

A 「基金」の残高は **544億円**

基金として、財政運営のための基金（財政調整基金、減債基金）と、特定の目的のため資金を運用する「特定目的基金」とがあります。

なお、平成27年度は、財政運営のための基金の取り崩しは行っていません。

市民 1 人あたりの貯金 = 125,426 円



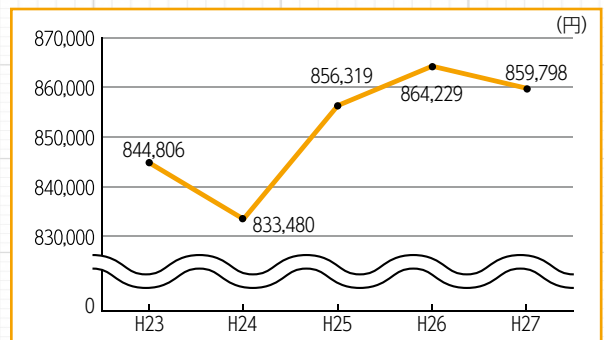
## 07 市債

Q 長崎市の借金はどれくらいあるの？

A 施設整備や災害復旧工事などの借入金 = 「市債」の残高は **3,729億円**

市債は、学校や道路、下水道など、長期にわたり使う施設の整備や災害復旧工事などのための借入金の中で、将来の市民との世代間で公平に負担しあう意味合いがあります。

市民 1 人あたりの借金 = 859,798 円



## 08 健全化判断比率

Q 長崎市の財政は破綻することはないの？

A 財政状態を表す健全化判断比率は国が定める基準内をキープしています。

「健全化判断比率」とは、財政運営の指標で、この比率がどれか一つでも基準以上になる（※下記を参照）と、国の関与の下で、財政再生に取り組むこととなります。

【用語の解説】  
 (1) 実質赤字比率…一般会計などの実質的な赤字額の指標  
 (2) 連結実質赤字比率…全会計（財産区特別会計を除く）の実質的な赤字額の指標  
 (3) 実質公債費比率…実質的な借入金返済額の指標  
 (4) 将来負担比率…将来負担すべき実質的な負債の指標

		実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
長崎市	27年度 (26年度)	-	-	6.2% (6.4%)	81.0% (81.2%)
	早期健全化基準	11.25%	16.25%	25.0%	350.0%
財政再生基準		20.00%	30.00%	35.0%	-

## 09 未収金

税金や保険料などは、ほとんどのかたが適切に納入されていますが、一部のかたの未納があります。平成27年度は、約6,700件(12億円)を差し押さえました。裁判所を通じた督促、和解、訴訟および強制執行は16件となっています。

種別	金額
市税	18億 3,237万円
国民健康保険税	30億 8,844万円
市営住宅家賃	6,240万円
介護保険料	2億 2,092万円
後期高齢者医療保険料	4,631万円
保育料	1億 6,293万円
その他	8億 4,206万円
合計	62億 5,543万円 (前年度比 ▲13.6%)

## 10 市の財産

種別	金額
土地	2,606億 9,873万円
建物	2,550億 6,568万円
工作物	341億 1,515万円
その他	233億 1,272万円
合計	5,731億 9,228万円

## 11 一時借入金

一会計年度内において、収入と支出の一時的な不均衡を解消するための一時的な借入金です。

70億 1,632万円 (平成27年度の最高借入額)

平成27年度の決算とあわせて、今年度(平成28年度)上半期の財政状況を報告します。

平成28年度上半期(4～9月)の財政状況

### ◆一般会計

費目	予算額	収入済額	収入率
市税	539億 2,600万円	292億 4,200万円	54.2%
国庫支出金	604億 5,000万円	231億 7,200万円	38.3%
地方交付税	360億 1,900万円	260億 1,900万円	72.2%
市債	281億 2,200万円	0円	0.0%
諸収入	54億 6,700万円	12億 5,800万円	23.0%
その他	390億 9,900万円	150億 8,100万円	38.6%
合計	2,230億 8,300万円	947億 7,200万円	42.5%

費目	予算額	支出済額	執行率
民生費	1,055億 9,200万円	440億 4,300万円	41.7%
公債費	273億 6,600万円	109億 2,300万円	39.9%
土木費	250億 5,700万円	67億 300万円	26.7%
総務費	179億 7,100万円	76億 600万円	42.3%
衛生費	171億 3,100万円	51億 300万円	29.8%
教育費	139億 9,400万円	53億 8,900万円	38.5%
その他	159億 7,200万円	66億 4,300万円	41.6%
合計	2,230億 8,300万円	864億 1,000万円	38.7%

### ◆特別会計 (国民健康保険事業、介護保険事業など 12会計)

予算額	収入済額	支出済額
1,238億 8,200万円	468億 4,700万円	484億 100万円

### ◆企業会計

会計	区分	予算額	支出済額
水道事業	収益的	収入	119億 8,000万円
		支出	100億 5,700万円
	資本的	収入	31億 3,200万円
		支出	82億 4,600万円
下水道事業	収益的	収入	137億 5,900万円
		支出	121億 4,600万円
	資本的	収入	98億 4,000万円
		支出	151億 2,800万円

### ◆基金の残高

554億 3,600万円 (平成28年9月末現在)

### ◆一時借入金の現在高

2億 300万円 (平成28年9月末現在)